

GLOBAL ACCOUNTING

Chapter 4

IFRSの基礎的特徴

本章の目的

- 会計基準の国際的収斂を進める国際会計基準審議会 (IASB) が設定する国際財務報告基準 (IFRS) の基礎的特徴について、以下の点を理解する。
 - IFRS の設定方法と規定内容の特徴
 - IFRS 設定の基礎概念である概念フレームワークの基本的な考え方（会計観）
 - 概念フレームワークの内容とその特徴
- IFRS の特徴を理解することで、日本の会計基準やその基本的な考え方との類似と相違が明らかになる。

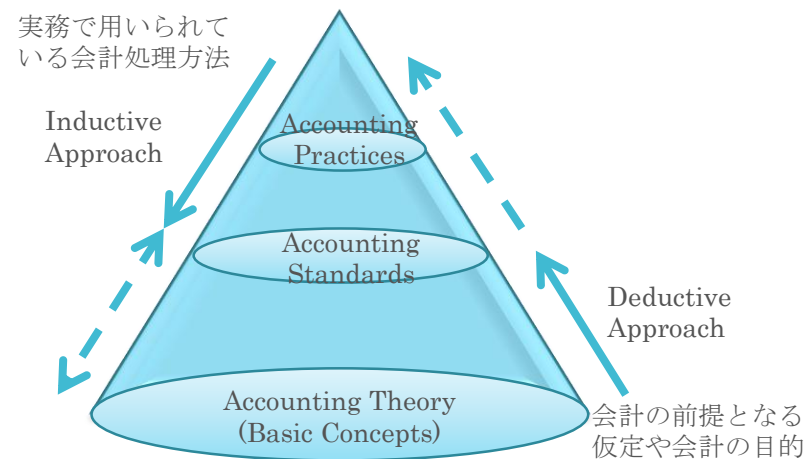
SEC.1 IFRSの設定方法～演繹法～

- 会計基準の設定方法

- () 法(inductive approach) : **実務**で実際に行われている会計処理を観察し、その中から**一般的または共通なものを抽出**することによって会計基準を設定する方法

- () 法
(deductive approach) : **会計の前提となる仮定や会計の目的**を最初に規定し、これらの仮定や目的とする**首尾一貫**するように具体的な会計処理の基準を設定する方法

図表4-1 会計基準の設定方法



1987

- 比較可能性・改善作業プロジェクトのスタート

1989

- 公開草案第32号(E32)『財務諸表の比較可能性』公表

それまでのIASに容認されてきた()
的な会計処理の除去を提案

- 概念フレームワーク『財務諸表の作成および表示に関するフレームワーク』公表

国際会計基準(IAS)の設定過程で用いて、会計基準の国際的調和をはかるための焦点を提供

()を基礎とした()法
(deductive approach)による会計基準の設定

SEC.2 IFRSの規定内容～原則主義～

- 会計基準の規定内容
 - （ ）主義(rules-based approach)：会計基準あるいは解釈指針等により、（ ）基準(bright lines)等を明示して、詳細に会計処理を規定
 - （ ）主義(principles-based approach)：会計基準では少数の原理・原則（（ ）原則）だけを定めて、会計基準の適用を経営者の（ ）に任せる
- 会計スキャンダルの発生
 - 2001年 エンロン社
 - 2002年 ワールドコム社、の倒産
 - （ ）主義であるアメリカの会計基準の網の目をくぐった巧みな会計処理 = （ ）主義の会計基準が検討

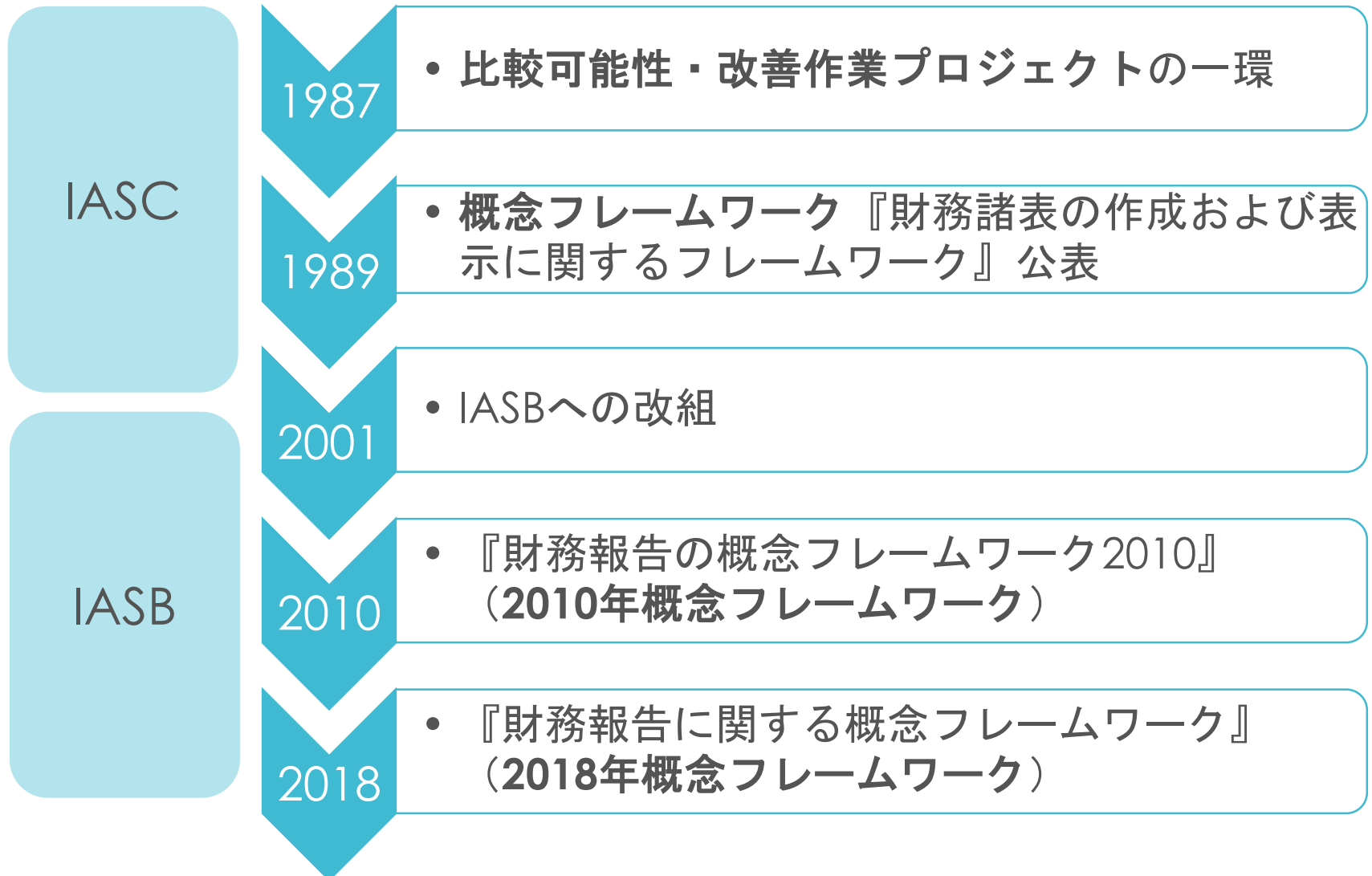
原則主義によるIFRS

- 原則主義による会計基準
 - （ ） 原則(core principles)が明確に説明
 - 副次的な原則(sub-principles)は、（ コア ） 原則との関わりから説明
 - このような原則を示すのが、
 - （ ）

図表4-2 会計基準の規定内容

	Rules-Based Approach	Principles-Based Approach
規定内容が詳細か否か	数値基準を示して詳細に規定する	コア原則だけにとどめた規定とする
経営者の判断を容認するか否か	経営者に裁量の余地を与えない	経営者の適切な判断を可能とする

SEC.3 IFRSの基礎概念～混合会計観～



図表4-3 『財務報告の概念フレームワーク』（2018年）
の構成

章	タイトル
第1章	一般目的財務報告の目的
第2章	有用な財務情報の質的特性
第3章	財務諸表と報告企業(reporting entity)
第4章	財務諸表の構成要素
第5章	認識および認識の中止
第6章	測定
第7章	表示と開示
第8章	資本および資本維持の概念

概念フレームワークの会計観

()

観 (Revenue
Expenses
View)

()

観 (Assets
Liabilities
View)

()

観 (New
Accounting
View)

昨今では、収益費用観および資産負債観の
2元的対立関係に変化

図表4-4 財務会計の基礎概念の変化

	Revenue Expenses View	Assets Liabilities View
(1)会計の中心概念	収益および費用	資産および負債
(2)測定の基礎	取得原価主義	公正価値測定
(3)業績評価	当期純利益	包括利益

	New Accounting View
(1)会計の中心概念	資産・負債・持分・収益・費用
(2)測定の基礎	混合測定（取得原価と現在価値）
(3)業績評価	包括利益・当期純利益

SEC.4 概念フレームワークの具体的な特徴

(1) 一般目的財務報告の目的

一般目的財務報告の目的

- 現在および将来の()者、()者およびその他の()者に対して、() (reporting entity)への資源提供についての()に役立つような、報告実体に関する財務情報を提供すること

主要な情報利用者

- 現在および将来の**投資者**、**貸付者**および**その他の債権者**
- 主要な情報利用者以外の情報利用者に、経営者、規制当局、一般大衆等

()と()との関連で最大限の情報利用者のニーズを満たすような情報提供

情報利用者の 情報ニーズ

リターン への期待

次ページへ

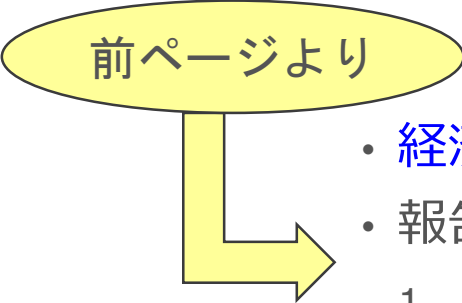
• 下記に関する意思決定に役立つ情報

- 資本性金融商品および負債性金融商品の取得、売却および保有
- 貸付金およびその他の信用供与または決済
- 企業の経済的資源の運用に関する経営者行動への議決権行使等
- 報告企業への将来の正味
（ ）の金額、時期
および不確実性の評価による
- 企業の経済的資源への経営者の
（ ）の評価による

1. 報告企業の（ ）、報告企業に対する（ ）、およびそれらの資源および請求権の（ ）に関する情報

2. 報告企業の（ ）および取締役会がいかに効率的かつ効果的に報告企業の資源を用いるために（ ）を果たしているかに関する情報

前ページより



- 経済的資源および請求権に関する情報は、
- 報告企業の（ ）を表し、以下の評価に役立つ。
 1. 報告企業の流動性および支払能力、追加的な資金調達へのニーズならびにその資金調達の可能性の評価
 2. 報告企業の経済的資源に関する経営者のスチュワードシップの評価
 3. 特に、請求権の優先順位および支払条件等に関する情報は、将来キャッシュ・フローがどのように分配されるかの予測
- 経済的資源および請求権の変動に関する情報は、
- （ ）と債券または株券の発行の取引から生じる。
- 財務業績に関する情報は、経済的資源から創造される（ ）を理解するのに役立つ。
- 財務業績に関する情報は、（ ）に基づいて示される。

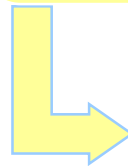
(2) 有用な財務情報の質的特性

- 主要な情報利用者が財務情報に基づいて報告企業について意思決定を行う上で、もっとも有用と考えられる情報の種類(the types of information) を特定するもの

() 的
質的特性
(Fundamental
Qualitative
Characteristics)

()
(relevance)

- 財務情報が情報利用者の意思決定に相違を生じさせる可能性のあること



()
(faithful
representation)

- 財務情報が表現しようとする事象を、**完全で、中立でかつ誤謬がない**ように描写すること

() 的
質的特性
(Enhancing
Qualitative
Characteristics)

() 可能性(comparability)

() 可能性(verifiability)

() 性(timeliness)

() 可能性(understandability)

基本的質的特性

目的適合性



目的適合性に関連した
報告企業固有の条件

() 性

予測価値(predictive value)を備えた情報

- 情報利用者が将来の結果を予測するために用いられるような情報

確認価値(confirmatory value)を備えた情報

- 情報利用者が過去の評価を確認するか、それを変更する場合に用いられるような情報

重要性(materiality)

- 項目の性質、金額あるいはそれらの両方に関連して、財務情報を省略あるいは虚偽表示することによって、特定の報告実体に関して情報利用者が行う意思決定に影響が生じるならば、その情報は重要な情報

基本的質的特性

忠実な表現



完全な描写

- 描写される事象を理解する上で、情報利用者が必要とするすべての情報を含んでいることを意味

中立な描写

- 財務情報の選択または表示において、偏向がないことを意味
- 慎重性(prudence)の行使により支えられる。

誤謬がない描写

- 現象の記述に誤謬または省略がなく、報告される情報を作成するために用いたプロセスが、そのプロセスにおいて誤謬がなく選択され、適用されたことを意味

補強的質的特性

() 可能性(comparability)

- ・項目間の類似点および相違点を情報利用者が特定し、比較可能であること

() 可能性(verifiability)

- ・財務情報が経済的事象を忠実に表現していることを保証できること

() 性(timeliness)

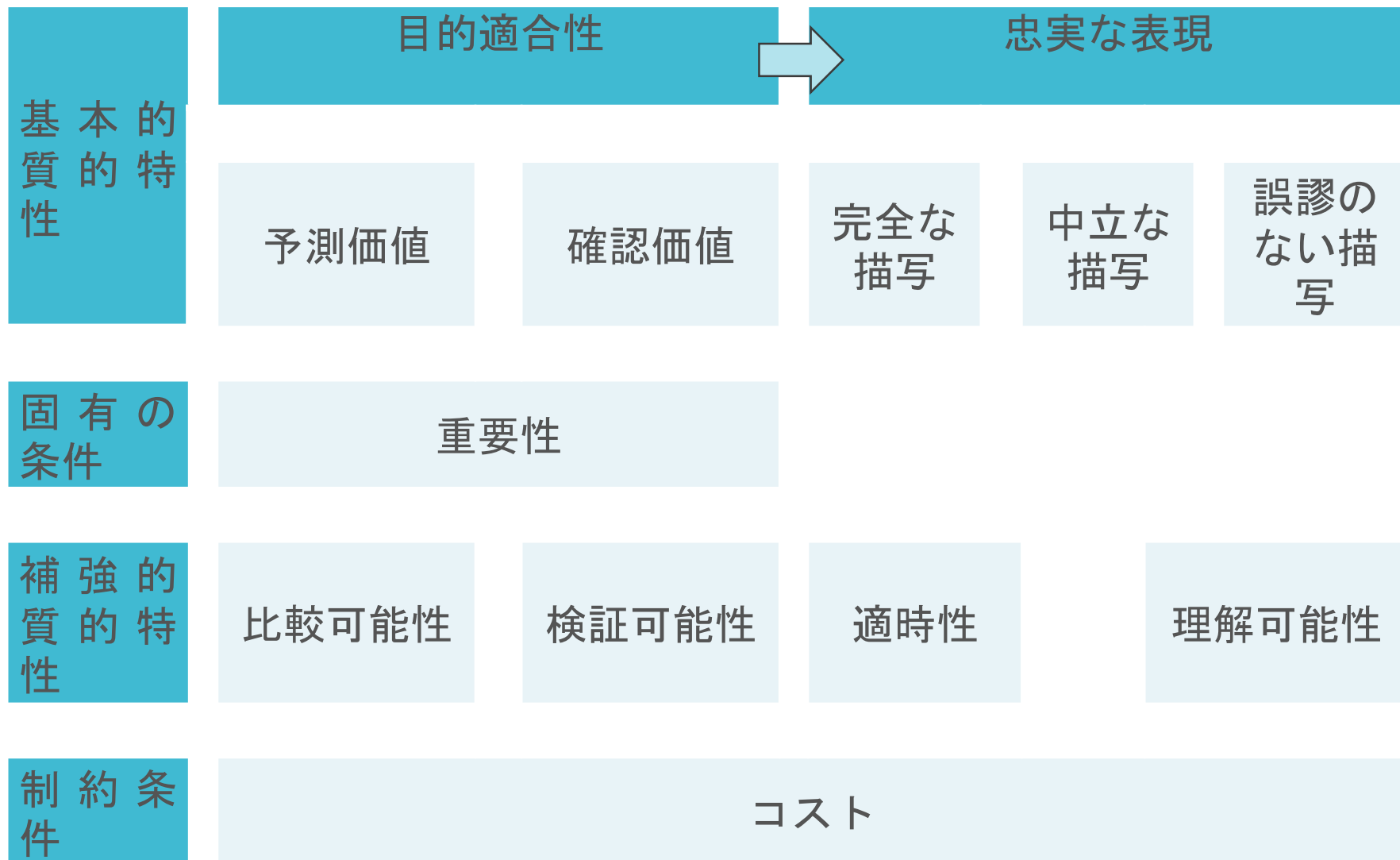
- ・意思決定者が意思決定を行う際に、適時に情報を利用できること

() 可能性(understandability)

- ・財務情報が明確かつ簡潔に分類され、特徴づけられ、表示されることで理解可能なものになること

情報提供者が財務報告を行う () 以上に、その情報により得られるであろう () (ベネフィット) がなければならない。

図表4-5 有用な財務情報の質的特性



(3) 財務諸表と報告企業

- 情報利用者の意思決定に有用な財務情報は、（ ） (financial statements)によって提供される。
- 財務諸表の目的
 - 財務諸表の利用者にとって、報告企業への**将来の正味**
（ ）の**予測**や報告企業の**経済的資源**に関する経営者の（ ）の評価に有用な、報告企業の**資産、負債、持分、収益**および**費用**についての財務情報を提供すること
- 1. （ ） (Statement of Financial Position)
- 2. （ ） (Statement(s) of Financial Performance)
- 3. **その他の計算書**および（ ） (notes) (下記に関する情報)
 - 財務諸表に計上される項目 (それらの性質およびリスク情報等を含む)
 - 財務諸表に計上されていない資産および負債 (それらの性質およびリスク情報を含む)
 - **キャッシュ・フロー**
 - **持分請求権者からの拠出および分配**
 - 表示または開示された金額の見積もりに用いられた方法、仮定および判断、ならびにそれら方法、仮定および判断の変更

- 財務諸表作成上の前提
- 財務諸表は、通常、報告企業が（ ）(going concern)であり、予見可能な将来にわたって事業活動を行うという前提のもとで作成
- 報告企業
- 報告企業は、財務諸表の作成を要求されるか、または選択する企業
- 報告企業は、必ずしも（ ）である必要はない。
- 報告企業が作成する財務諸表（報告企業の特性から分類）
 1. （ ）(consolidated financial statements)
 - 報告企業が、他の企業を支配する（ ）(the parent)と支配される（ ）(subsidiaries)から構成されている場合
 2. 非連結財務諸表(unconsolidated financial statements)
 - 報告企業が、親会社だけである場合
 3. （ ）(combined financial statements)
 - 報告企業が親子関係のない2つ以上の企業が結合している場合

- ・連結財務諸表

- ・ **単一の報告企業**(a single reporting entity)として、親会社およびその子会社の資産、負債、持分、収益および費用に関する情報を提供
- ・ 親会社の現在および将来の投資者、貸付者およびその他の債権者が、() への**将来の正味キャッシュ・インフロー**の見込みを評価するうえで有用

(4) 財務諸表の構成要素

情報利用者のニーズ	構成要素	構成要素の定義
経済的資源	資産	過去の事象の結果として、報告企業が支配している現在の経済的資源
		経済的資源: 経済的便益を生み出す潜在的能力を有する権利
請求権	負債	過去の事象の結果として、経済的資源を移転する報告企業の現在の義務
	持分	企業のすべての負債を控除した企業の資産に対する残余持分
財務業績に反映される経済的資源および請求権の変動	収益	持分の増加を生じる資産の増加または負債の減少(持分請求権者からの拠出を除く)
	費用	持分の減少を生じる資産の減少または負債の増加(持分請求権者への分配を除く)
経済的資源および請求権のその他の変動	---	持分請求権者からの拠出および分配
	---	持分の増減を伴わない資産または負債の交換

()
(assets)

- 過去の事象の結果として、報告実体が支配している現在の ()

()
(liabilities)

- 過去の事象の結果として、経済的資源を移転する報告実体の現在の ()

()
(equity)

- 企業のすべての負債を控除した企業の資産に対する ()

経済的資源(economic resources)

- () を生み出す潜在的能力を有する権利

() (income)

- 持分の増加を生じる資産の () または負債の () (持分請求権の保有者からの拠出に関するものを除く)

() (expenses)

- 持分の減少を生じる資産の () または負債の () (持分請求権の保有者への分配を除く)

(5) 認識と認識の中止

- **認識**とは、財務諸表の構成要素の**定義**を満たした**資産、負債、持分、収益および費用**を、() または () の中に組み入れる過程
- 以下の要件を満たす必要
 - ① () (relevance) 資産または負債および収益、費用または持分の変動に関する**目的適合的な情報**
 - ② () (faithful representation) 資産または負債および収益、費用または持分の変動の**忠実な表現**
 - ③ () < () (cost vs benefit) 情報提供の**コストを上回る便益**をもたらす情報
- 目的適合的な情報を提供しない場合
 - 資産または負債の**存在が** () (existence uncertainty)
 - 経済的便益のインフローまたはアウトフローが**僅少**
- 忠実な表現が提供されるかどうか
 - **測定**の () (measurement uncertainty)、あるいはその他の要因

- **認識の中止**(derecognition)とは、報告企業の財政状態計算書から、認識されている資産または負債の**すべてまたは一部を取り除くこと**
- 資産または負債の**定義**を満たさなくなった時点
- **資産**に関しては、報告企業が資産のすべてまたは一部への**支配**を失ったとき
- **負債**に関しては、報告企業が負債のすべてまたは一部への現在の**義務**をもはや負っていないとき
- 下記、両方を考慮？（特に言及なし）
 - （control approach）
 - （risk and rewards approach）

(6) 測定

- **測定**(measurement)とは、財務諸表で認識された構成要素を
（ ）で数量化すること
- **測定基礎**(measurement basis)の選択
 - 有用な財務情報の**質的特性**と**コストの制約**を考慮して、異なった測定基礎を選択（ ）(mixed measurement)

① （ ） (historical cost)

② （ ） (current value)

• 歴史的原価

- 歴史的原価の測定値は、**取引等の価格**から少なくとも一部得られた情報を用いて、資産、負債ならびに関連する収益および費用に関する貨幣情報を提供

• 現在価値

- 現在価値の測定値は、**測定日における条件を反映した情報**を用いて、資産、負債ならびに関連する収益および費用に関する貨幣情報を提供
- 資産および負債の現在価値は、以前の測定日以降、**キャッシュ・フローの見積もり**および**現在価値に影響するその他の要因**における変化を反映

現在価値の種類

- 現在価値

1. ()
2. 資産に関する() (value in use)および負債に関する() (fulfilment value)
3. () (current cost)

- 公正価値

- 測定日における**市場参加者の間での通常の取引**において資産の売却から**得られるであろう価格**、または負債の移転により**支払われるであろう価格**
- 活発な市場において**観察される価格**(observing prices)を用いて**直接決定**
- その他の場合には、将来キャッシュ・フローの見積もり、不確実性から生じる資産または負債に関する将来キャッシュ・フローの見積もり金額または時期の変動可能性、貨幣の時間的価値、キャッシュ・フローに内在する不確実性を担保する価格（リスク・プレミアムやリスク・ディスカウント）、およびその他の要因をすべて反映した**キャッシュ・フローを基礎とした測定技術**(cash-flow-based measurement techniques)を用いて**間接決定**

- 使用価値
 - 報告企業が**資産**の利用および処分から生ずると**期待するキャッシュ・フロー**あるいは**その他の経済的便益**の**現在価値**(present value)
- 履行価値
 - 報告企業が**債務を履行するとき**に移転されると見込まれる**キャッシュ**または**その他の経済的資源**の**現在価値**
- 現在原価
 - 歴史的な原価と同様に、報告企業が資産を取得または負債を負担する市場での価格を反映した**入口価格**(entry value)
 - 資産： **測定日**に同等の資産を**取得した場合の対価**と取引費用を合計した原価
 - 負債： **測定日**に同等の負債に関して**受け取るであろう金額**から取引費用を控除した額

(7) 表示と開示

- ・ 報告企業は、財務諸表において、資産、負債、持分、収益および費用に関する情報伝達をする。
- ・ 財務諸表における効果的な情報伝達によって、情報がいっそう（ ）で、報告企業の資産、負債、持分、収益および費用を（ ）表現する。
- ・ 財務諸表における情報の（ ）性と（ ）性を高める。
- ・ （ ）の制約は、表示および開示においても重要